

感謝と御礼

ガバナー 伊藤 恭 一

写真の証書が送られて来ました。RENOUF会長とPIGMAN事務総長の署名のあるCertificate of Service to R.I. (国際ロータリーに対する奉仕の証書)でガバナーとしての私の名前が花文字で入っている立派なものです。当地区86R.C.の5,457名の会員の今年度の奉仕に対する感謝の印とうけとり、皆様のお目かけます。これにRENOUF会長より私宛の名文のお礼状がついています。

(1)ベトナム奨学生特別支援に関する報告

ガバナー月信9月15日第4号及び2月15日第9号に本件に関するお礼と中間報告を申し上げましたが、6月30日現在の預金残高は金2,597,399円です。この目的のために実際支出した金額は84万円であり、次期伊瀬ガバナーに引継ぎを致したい。この金額の中には2年分3年分を醸出して頂いたクラブもあり、醸出して頂けなかった2~3のクラブもあります。この浄財をベトナム奨学生が未だ現実に存在しますので、引つづきこの残高を保管することを御承認賜り度い次第です。尚今後の御送金は中止して下さい。

(2)東京国際大会運営委員会の剰余金処理

ガバナー連絡会議の決定に基き剰余金処理小委員会は次の通り処理することに決定致しました。地区内全員より3カ年に互って醸出して頂いた金額をも含んで居りますので報告致します。総額は金参千壹百万円です。

1)財団法人ロータリー米山記念奨学会に金壹千万円を寄付する。

2)米山記念館(静岡県駿東郡長泉町)の施

設費に金参百万円を寄付する。

3)東京大会記録誌増刷費に金五百万円を充当する。(配布計画は後記します)

4)残金約金壹千参百万円を全国的規模のロータリー創立75周年記念事業費の一部に充当する。

a)前記東京大会記録誌は2,000部増刷し、25部を未贈呈の元R.I.の要人に贈呈した。

b)国内23地区に85部宛配分した。この85部の内20部はガバナー事務所に留保し新設クラブ等に配布する。65部は各クラブ毎に葉書にて私(伊藤恭一宛…〒530大阪市北区堂島浜2丁目1-9東洋紡績(株))に購入申込をして頂き1部2,500円で分売します。申込超過せば比例配分或は抽選方法を用います。尚65部の売上代金162,500円は地区75周年記念事業費に充当するため地区75周年委員会に委託します。

(3)ローマ国際大会報告

ローマ国際大会は6月10日より13日の4日間ローマ郊外のPALAZZO DELLO SPORTで行われた。

ローマ大会には104カ国より14,429名のロータリアンの登録と235名のゲストと28名のインターアクト、ローターアクト会員の参加により総計14,692名になりましたが東京大会の参加総数40,155名に比すれば37%であります。国別上位10位迄の登録は次の通りです。

| 順位 | 国名 | 登録数 | (東京大会登録数) |
|----|------|--------|-----------|
| 1 | アメリカ | 3,777名 | (3,978名) |
| 2 | 日本 | 2,152名 | (29,978名) |
| 3 | イタリー | 1,839名 | (264名) |
| 4 | フランス | 1,530名 | (253名) |



Certificate of Service to Rotary International

In grateful recognition of dedicated Rotary service, and with appreciation for effective contribution to the administration of Rotary International, this certificate is presented to

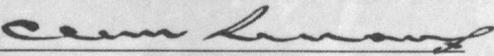
Kyoichi Itoh

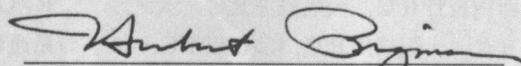
who, having been nominated by the clubs in his district and elected by unanimous vote of the delegates assembled at the 69th annual convention of Rotary International in Tokyo, Japan, served as

District Governor

from 1 July 1978 through 30 June 1979

ROTARY INTERNATIONAL


PRESIDENT


GENERAL SECRETARY

| | | |
|-----------|------|---------|
| 5 英国 | 514名 | (89名) |
| 6 独逸 | 485名 | (39名) |
| 7 豪州 | 435名 | (893名) |
| 8 カナダ | 394名 | (704名) |
| 9 メキシコ | 350名 | (139名) |
| 10 アルゼンチン | 313名 | (139名) |

以上の如く、フランスが第4位に入り英国や独逸の3倍も参加していることは注目に値します。

(4)退任に当って地区の現況を報告します。

既に4月6日～7日に行われた地区大会の記録は完成し配布されていますし、6月23日に行われた地区協議会の全体会議にても一部報告しましたので、重複をさけ要点のみに止めます。

1)ロータリーの拡大は2クラブで、大阪阿倍野R.C.は6月6日付で、和歌山北R.C.は6月28日付でそれぞれR.I.への加盟承認され、期末現在は86R.C.をかぞえ、国内23地区中最大のクラブ数になりました。

2)会員の増強については次の通りです。

| | | | |
|---------|--------|------|------|
| 増加クラブ | 55R.C. | 増加人数 | 218人 |
| 減少クラブ | 18R.C. | 減少人数 | 27人 |
| 不変クラブ | 11R.C. | | |
| 拡大による | 2R.C. | 増加人数 | 58人 |
| 合計期末会員数 | 5457人 | | |
| 期初会員数 | 5208人 | | |
| 純増加 | 249人 | | |
| 増加比率 | 4.76% | | |

3)出席状況(年度を通じ100%の出席をされたR.C.)

羽曳野RC, 橋本RC, 東大阪中RC, 和泉RC, 河内長野RC, 大阪難波RC, 大阪住之江RC, 大阪梅田RC, 和歌山東RC.

4)75周年記念基金の醸出状況

6月30日(土)在日財務代行の年度末締切日迄に醸出された状況は地区内68R.C.より\$94,488.05(18,614,145円)となっています。

THE ROTARIAN誌の3H HONOR ROLLという欄に\$15, \$30別にR.C.が記載されています。又6月30日迄にガバナー事務所へ届いた各協クラブ宛のRENOUF会長サイン入の礼状の写によりますと、51R.C.より\$76,552.96(円貨表示のものは所定レートにより換算する)となっています。

5)ロータリー財団について

ロータリー財団に関する寄付の年度末数字は8月に送付されますが5月末現在において地区は既に1,000%となり、年度初めよりの寄付額は\$299,704.51に達し前1年間よりも超過し、一人当たりも\$57.81に達し前年度の\$56.21を既に超え、恐らく\$60のラインを超え財団奨学生をもう1名追加し8名を選出する見通しであります。

6)米山奨学会について

本年度の普通寄付15,355,250円、特別寄付33,565,183円、合計48,920,433円に達し、前年度を50%も超過する立派な数字に達しました。

7)地区実情調査委員会について

菅生ガバナー月信第12号13頁に本委員会の設置と委員の委嘱があり、1978年5月24日会合が行われ、本年度も若干の委員の変更がありました。7月6日に行われた地区諮問委員会において、次の三つの観点から積極的に活動するよう指示をうけ、私が委員長に委嘱されましたので、IGF区分毎に10名の委員の委嘱を伊瀬ガバナーに要請致しますので御協力をお願いします。三つの点とは①75周年という大きな節に際し、従来の行きがかりを捨てて真剣に検討しよう。②当地区は年度末に86R.C.となり、次年度中には88R.C.になる見通しにつき地区の管理限界を越えた。③第258地区(東京都、沖縄県、グアム、サイパンの84R.C.)は小異を捨てて地区分割の決議をされ、近くR.I.に申請され、12月の理事会において承認される見通しである。

以上に鑑み地区実情調査委員会の活動を再開したく、直前ガバナーとしてIGF組別に更にクラブ別にも協議申し上げるため訪問したい考えです。

(4)メダル収集家のために

ISRAELのJERSALEM R. C.

は本年50周年を迎え記念メダルを発行することになったので案内が到着しました。銀製第1号はRENOUF会長に贈呈された由です。イスラエル政府の硬貨製造公社の発行する銀製とブロンズ製で直径45%のメダルです。銀製は\$24、ブロンズ製は\$8です。メダルコレクターに対し責を果します。

地区だより

1978～79年度 国際ロータリー 地区協議会開催報告

ホストクラブ委員長 白水半次郎（池田R. C.）

1979年6月23日（土）ロイヤルホテルに於て、池田R. C.がホストとなり、1979～80年度のクラブ指導者のための地区協議会が開催された。

出席義務者 688名（その出席率は98%）とパストガバナー、各リーダー、地区幹事、協議会委員の総計 758名が参加した。

次期ガバナー伊瀬芳吉君は、本年始めごろ

健康を害され、心配されていたが、ボカ・ラトンの国際協議会の研修を無事おえられ、元気な姿で出席され、皆を安心させた。

定刻9時30分点鐘と共に、光琳の間で幕は開かれた。RI新会長のテーマ、LET SERVICE LIGHT THE WAY（奉仕の灯（ひ）で道を照らそう）の図柄と文字の大ボードの下に、先ず伊藤ガバナーが立って、開



手に手つないで……地区協議会のフィナーレ